

HOKUSHO UNIVERSITY
SCHOOL OF EDUCATION AND CULTURE
DEPARTMENT OF
ART AND DESIGN
北翔大学 教育文化学部 芸術学科

 北翔大学

教育文化学部
芸術学科

〒069-8511
北海道江別市文京台 23 番地

Tel. 011-386-8011 (代)
Fax. 011-387-1542

info@hokusho-u.ac.jp



表紙イラスト "A cosmic dream" 中村 結衣

©2025 Department of Art and Design, Hokusho University all rights reserved.

芸術学科の活動 学内・学外での取り組み



大丸デパート主催「百花祭」
子どもワークショップ



さっぽろ高校生演劇合同ワークショップ2025



「みんなのテレビ塔デザインコンテスト」
優秀賞 谷田 琴音



「未熟なまち」
第79回全道展 絵画部門 入選
渡部冬羽歌



TEDxSapporo 2024
ステージデザイン・照明・音響制作



インテリア建築分野 江別市建築見学会



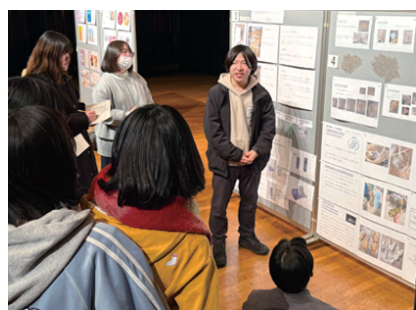
台湾台北市立 建安国民小学校 来日交流
彫刻体験・日本画体験



彫刻 铸造実習



ツキガタアートヴィレッジ
2025シーズンオープンイベント
春ウタウに参加



総合演習・専門演習 成果発表会
@札幌円山キャンパス



北海道おみやげグッズデザイン
(株)バル・コーポレーションとの産学連携事業



「和と洋の融合 sustainable fashion show」
「工藤洋裁教室」との協同企画



学生企画ファッションショー
高橋 瀬里奈



「北海道学生演劇祭2025」
北翔舞台芸術「ゲラ・ゲラ・ゲラクウーマン」優秀賞
渡部 萌/澤田 すみれ/境谷 明実 特別役者賞
音響: 前田 さくら、照明: 高橋 彩香
写真: 藤宮 葵葉



DENIM BEAR「第5回 岡山モノづくり★
学生アイデア・デザインコンテスト」優秀賞
荒牧 実子、金谷 鳳輝、尾崎 真椰、
合田 琢磨、佐藤 亜衣里、北村 結



劇団B-Stage Vol.18「螺鈿(らでん)の宝宝箱」
荒谷 知優、野田頭 希 (卒業生)



台湾研修: 建安国民小学校との国際交流



北翔祭 2025 キービジュアル、ポスター
中村 結衣



「わからない若者」第98回道展 入選
平田 晟也 (卒業生)



舞台芸術研修 大阪梅田劇場メインホール見学



インテリア建築業界就職セミナー

芸術学科の特色

KEY FEATURES

5つの芸術分野

芸術学科には、美術、メディアデザイン、インテリア建築、服飾美術、舞台芸術の5分野を設置しています。絵画や造形を中心に表現力を磨く美術、デジタル技術を活用するメディアデザイン、生活空間を創造するインテリア建築、衣服を通じた表現の服飾美術、舞台表現を総合的に学ぶ舞台芸術と、それぞれが専門性を深める場を提供します。1つの分野を究めたい学生にも、複数分野に触れて見識を広げたい学生にも応えられる体制を整えています。

5分野を横断して学ぶ

「1つの分野を究めたい」という学生にとっても、他分野の学びが専門性を広げる助けになります。1・2年次は複数分野を融合して学ぶ基礎科目に加え、2年次の総合演習では20の研究領域から興味に応じて学修。3年次以降の専門演習や4年次の卒業研究へと発展し、専門性を深めていきます。

基礎から応用までしっかりと学べる

「芸術理解」から始まり、基礎・応用、そして発展へと段階的に学びを深められるカリキュラムを用意しています。1・2年次は幅広い分野にふれながら基礎を固め、3年次以降は自分の関心や将来像に合わせて専門性を高めていきます。それぞれのレベルに応じて力を伸ばせる環境が整っており、学びを積み重ねることができます。

GT(ガイダンス・ティチャー)制度

高校までの担任制に近い仕組みで、1年生から4年生まで一人の教員が学生を担当し、学業や学生生活に伴走します。芸術学科では学生と教員の距離が近いのが特徴で、3・4年生になると志望する専門分野に沿った教員がGTとなり、より専門的な学びや進路を力強く支えます。

教育・文化・地域で生かせる免許と資格

芸術学科では、中学校・高等学校教諭一種免許状(美術)、学芸員任用資格、社会教育主事任用資格(社会教育士)を取得することができます。美術教員免許は、学校で美術を教え、表現の楽しさを次の世代に伝える道につながります。学芸員資格は、美術館や博物館で作品を調べ、展示を通じて社会や文化と結びつける活動に生かされます。社会教育士は、公民館や地域の学びの場で、人々の学習や交流を支える取り組みにつながります。これらの資格を通じて、創造性と専門性を社会に活かし、人に伝える力をさまざまな分野で発揮する未来が広がります。

- ・ 中学校教諭1種免許状(美術)
- ・ 高等学校教諭1種免許状(美術)
- ・ 学芸員任用資格
- ・ 社会教育主事任用資格(社会教育士)

スキルを形にする資格・検定

芸術学科では、建築や住環境、デザイン、ビジネスなど多様な分野に関わる資格や検定に挑戦できます。専門職に直結するものもあれば、知識やスキルを客観的に確認できるものもあり、いずれも自分の学びを「見える形」にし、将来に活かすための大切なステップとなります。

- ・ 一級建築士(実務経験 0年、実務4年受験)※
- ・ 二級建築士(実務経験0年受験) ※
- ・ 商業施設士受験資格
- ・ インテリアプランナー(必要実務経験年数短縮)
- ・ 宅地宅建取引士
- ・ フォーマルスペシャリスト検定(プロンズライセンス)
- ・ アドビ認定アソシエイト(ACA) : Photoshop CC
- ・ アドビ認定アソシエイト(ACA) : Illustrator CC

※2022年試験から、実務経験が受験時の要件ではなくなり、卒業年から受験できるように法改正されました。

20の研究領域

芸術学科には、5つの分野から広がる20の研究領域があります。これらは、多様な芸術の専門性を将来の進路へ直結させるために体系化された学びの枠組みです。学生はまず1年次に幅広い基礎を学び、仲間とともにさまざまな表現や技法に触れることで、自分の関心や適性を見極めます。2年次からは20の研究領域の中から専門分野を選び、「総合演習」で本格的な学びを開始。さらに3年次の「専門演習」、4年次の「卒業研究」へと進むにつれて、段階的に専門性を高めていきます。こうした学びの流れを通して、実践力と専門性を兼ね備えた表現者へと成長できる環境が整っています。

特別講義・ワークショップ

芸術学科では、特別講義やワークショップを通じて、国内外の第一線で活躍する専門家と出会える機会があります。これまでに、奈良美智氏(画家)、川村健一氏(インタラクティブデザイナー/アートディレクター)、山崎晴貴氏((株)LIFULLクリエイティブ本部未来デザイン推進室リサーチ&デザイングループ長/研究員)、高谷健太氏(山本寛齋事務所代表取締役 デザイナー・クリエイティブディレクター)、土佐信道氏(明和電機)、マサ・タン先生(台湾実践大学 服装デザイン学科)をお迎えしました。こうした学びの体験が、学生一人ひとりの発想力を刺激し、次の創造へとつながっています。



台湾実践大学 服装デザイン学科のマサ・タン先生を招き、「I am a Super Star!」プロジェクトを実施しました。ファッション誌の表紙をテーマに自分らしさを表現。コラージュによる自画像を構図から配色まで考え抜き、2日間で仕上げました。



特別講義では、専門性を問わず講師の芸術性や人間性に触れることで、今後の学びに繋げています。

美術分野

FIELD OF FINE ARTS

密度の濃い
少人数教育で
豊かな表現者になる

充実した制作スペースで、密度の濃い少人数教育を展開。絵画、彫刻、グラフィックデザイン等の科目で描写力や造形力を磨き、多様なアートシーンや美術教育の現場で活躍できる人材を養成します。学生たちは道展や全道展、新道展、道展U21などに積極的に出品し、高い評価を得ています。

美術分野の学生が選ぶ主な研究領域

- ・絵画
- ・彫刻
- ・グラフィックデザイン
- ・写真
- ・デジタルアート
- ・マンガ/アニメーション

多様な表現を学べるカリキュラム

美術分野では、絵画・彫刻・グラフィックデザインの3つの専門性を柱に、美術やデザインの理論と技法を基礎から応用まで体系的に学び、多様な表現力を身につけます。

多角的にアートを探求する学び

平面・立体・工芸・デジタルなどの多彩な実習を通じて、絵画、塑像、版画、CG、木材・金属・陶芸などに取り組み、観察力や発想力、表現力を総合的に養います。

美術を基点に広がる学びの可能性

美術を基盤に、CG・映像・Web・プログラミングを扱うメディアデザイン、服飾やテキスタイルを学ぶファッション、空間や構造に関わる建築、舞台美術や映像制作を含む舞台芸術など、専門を越えて創造力を広げる学びが展開されています。

教員免許・学芸員資格を目指す

芸術学科では、中学校・高等学校教諭一種免許状(美術)と学芸員任用資格の取得が可能です。教育現場で子どもたちに美術の魅力を伝える力や、美術館・博物館で作品と社会をつなぐ力など、創造性と専門性を活かして人に伝える力を養い、指導者としての道を目指します。

美術分野の主な科目

1年次	2年次	3年次	4年次
・美術概論	・色彩計画	・版画	・デジタルコンテンツ制作
・基礎デザイン	・美術史	・陶芸Ⅱ	・卒業研究
・ドローイングⅠ・Ⅱ	・絵画Ⅲ	・金属工芸	
・絵画Ⅰ・Ⅱ	・彫刻Ⅲ	・木材工芸	
・彫刻Ⅰ・Ⅱ	・グラフィックデザインⅢ	・美学	
・グラフィックデザインⅠ・Ⅱ	・陶芸Ⅰ	・マンガ表現研究	
	・総合演習Ⅰ・Ⅱ	・3次元造形演習	
	・美術表現演習	・ポートフォリオ制作	
		・専門演習Ⅰ・Ⅱ	



絵画スタジオでの制作



絵画作品講評会の様子



「freedom」第98回道展 入選
八木 美憂



デザインプロジェクト：企業との打合せ



彫刻作品制作の様子

「帰ろう」 柳沼 翔大
「grow out of」 飯嶋 海
「北海道お土産グッズ」産学連携プロジェクト
グラフィックデザインゼミ



「こぞえぬように」 宮地 茜理
「季節の花カレンダーよりガーベラ」 林 京花(卒業生)
「〇△□」 鳥田 悟朗
「熊とプロペラと森主ヌルヲ」 平田 晟也(卒業生)

メディアデザイン分野 FIELD OF MEDIA DESIGN

IT技能とデザイン力を
兼ね備えた
創造者になる

メディアデザイン分野の学生が選ぶ主な研究領域

- ・動画 / 映像
- ・デジタルアート
- ・3DCG
- ・写真
- ・ゲームデザイン
- ・マンガ / アニメーション

アナログとデジタルを学ぶ

従来の手を使ったデッサン、平面構成、立体造形、色彩などの基礎美術力を身につけることで、デジタル技術を活用した新しい表現方法の幅を広げます。

芸術5分野で共創する

芸術学科の美術分野、インテリア建築分野、服飾美術分野、舞台芸術分野とメディアデザイン分野の組み合わせによって、お互いの魅力を学び、知識・技術の引き出しを増やします。

メディアデザイン分野の主な科目

1年次	2年次	3年次	4年次
・メディアデザイン概論	・映像論	・写真	・デジタルコンテンツ制作
・デジタルイメージⅠ・Ⅱ	・デジタルビデオ編集	・デジタルビデオ編集	・卒業研究
・デジタルデザインⅠ・Ⅱ	・ウェブデザインⅠ・Ⅱ	・3DグラフィックスⅡ	
・クリエイティブシンキング	・デジタルイメージⅢ	・サウンドデザイン	
	・デジタルデザインⅢ	・3次元造形演習	
	・3DグラフィックスⅠ	・プログラミングによるCG	
	・3Dモーショングラフィックス	・ポートフォリオ制作	
	・総合演習Ⅰ・Ⅱ	・専門演習Ⅰ・Ⅱ	

コンピュータグラフィックス、3Dモデリング、デジタル映像、プログラミングなどの技能に加え、映像論やクリエイティブシンキングなどの知識もバランスよく学べます。授業やプロジェクトを通じて学外と積極的に関わり、各分野のプロとの共創を体験しながら、ビジネスの現場で生かせる実践力を養います。

さらに、美術やファッション、舞台など他分野との協働を通して、表現の可能性を広げる力を育てます。



海上自衛隊大湊地区隊創設70周年記念ロゴコンペ
審査員特別賞 受賞
佐藤 ななみ



「Retrofuture Aliens」 小坂 遥菜



「みんなのだいすき」 松山 千尋



上:第21回 芸術学科 卒業制作展キービジュアル 黒島 亜夢
下:えべつスノーフェスティバル2024ポスター 中村 結衣



上:「Hot Dog Day」河尻 菜々子、中:「幸運」和田 七海、下:「サーカスへいこう」青柳 ひかり

インテリア建築分野

FIELD OF INTERIOR DESIGN AND ARCHITECTURE

基礎から段階的に学び、
暮らしの提案者になる

安心して快適な環境を実現するユニバーサルデザインを基本に据え、インテリアや建築の提案・設計に必要な力を基礎から習得します。スケッチや模型制作、CAD設計を体験しながら、発想力や表現力を磨きながら実践力を高めます。所定の単位を修めることで、一級建築士、二級建築士受験資格の取得を目指します。

インテリア建築分野の学生が選ぶ主な研究領域

- ・建築デザイン
- ・空間デザイン
- ・インテリアデザイン
- ・ユニバーサルデザイン

建築とインテリアデザインを学ぶ

住宅や商業施設などの設計・インテリアデザインに必要な知識と技術を基礎からじっくり学びます。
手描きによるイメージスケッチ/ 設計製図/ 模型製図/ コンピューターを使ったCAD、CG技術の修得、表現力、構想力、実践力を身につけることができるカリキュラムを用意しています。

建築業界における資格を目指す

- ・一級建築士（免許登録資格 実務経験4年）※
- ・二級建築士（免許登録資格 実務経験0年）※
- ・インテリアプランナー（免許登録資格 実務経験0年）
- ・商業施設士受験資格など

※2022年試験から、実務経験が受験時の要件ではなくなり、卒業年から受験できるように法改正されました。

インテリア建築分野の主な科目

1 年次

- ・空間デザイン基礎
- ・インテリアデザイン
- ・ユニバーサルデザイン

2 年次

- ・テクニカルスケッチ
- ・建築計画
- ・CAD設計
- ・インテリア設計Ⅰ
- ・建築空間のしくみ
- ・空間模型演習
- ・住宅設計演習
- ・総合演習Ⅰ・Ⅱ

3 年次

- ・都市と空間の法規
- ・住宅と空間の生産
- ・建築一般構造演習
- ・構造のかたちと力
- ・空間設備
- ・生活環境
- ・インテリア設計Ⅱ
- ・専門演習Ⅰ・Ⅱ

4 年次

- ・構造力学演習
- ・住宅と空間の生産
- ・建築一般構造演習
- ・構造のかたちと力
- ・卒業研究

対策講座など充実したサポート体制

■ 1・2級建築士試験対策

建築に関する資格取得の受験対策講座を開講している予備校「日建学院札幌校」と連携し、国家資格「1・2級建築士」の合格に向けたサポートを行っています。建築関係科目では、1級建築士の資格を有する教職員や建築設計事務所を主宰する非常勤講師が指導します。

■ 宅地建物取引士試験対策

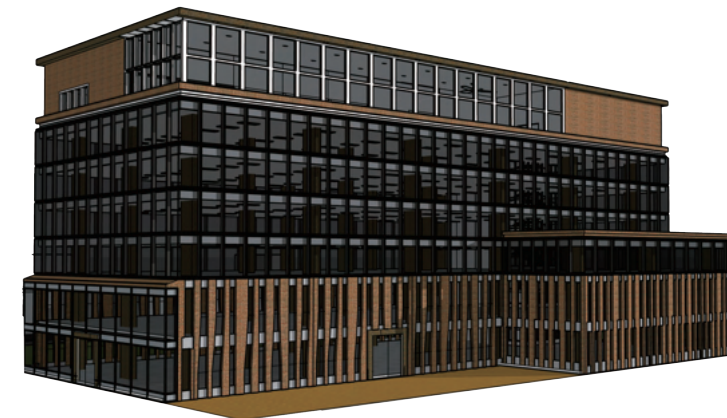
現役学生向けに「日建学院札幌校」の協力を得て、国家資格「宅地建物取引士」の合格を目指します。現役学生では合格が難しいこの試験に、インテリア建築分野の学生が複数名合格しています。



「自然、建築、人の一体化を目指した宿泊施設」
阿南 夏凜



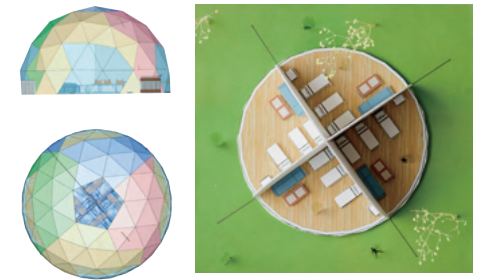
「世代を超えて利用するシェア別荘 ～りんご農園跡地におけるコミュニティの創造～」
羽野 歩



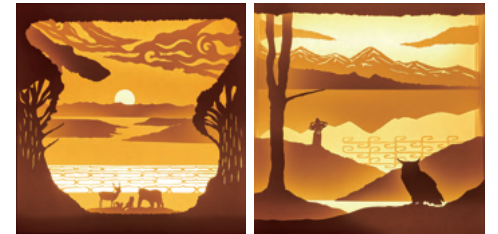
「江別市庁舎建て替え案の構想」
渋谷 瞭成



「純粹喫茶すずらん」
村本 菜摘



「カムイの杜公園グランピング施設増設計画」
大西 勇人



「コタンコロカムイ～アイヌの暮らしを守る～」
大澤 美桜



「内装にごだわった住宅：1階平面図」
南出 竜之介



「時館～時の流れを楽しむ家」
豊島 明香

服飾美術分野

FIELD OF FASHION ART

感性と実践力を育み

未来を作る

ファッションの探求者になる

服飾美術分野の学生が選ぶ主な研究領域

- ・ファッションデザイン
- ・テキスタイルファッション
- ・手芸クラフト
- ・舞台衣装

基礎から応用まで実践的に学ぶ

服飾美術分野では、ファッションに必要な知識と技術を基礎から段階的に身につけます。1年次はデザインの理論や方法、縫製・パターンなど造形技術の基礎を学習。2年次にはドレーピングやCADを活用した実践的技術に取り組み、クリエイティブな表現を広げます。3・4年次では自己表現を探究しつつ、文化・社会・ビジネスとの関わりを理解し、それぞれの専門性を深化させます。

時代や社会を捉え、自己の表現を探究する

今という時代の視点からファッションを捉え、現代社会の多様性に向き合いながら自らの表現課題を発見します。そして時代に呼応しつつ、その先を見据えた自己表現を探究していきます。

服飾美術分野の主な科目

1年次

- ・ファッションデザイン概論
- ・服飾基礎実習
- ・服飾造形論
- ・ファッション画
- ・パターンメイキング
- ・アパレルCAD
- ・衣服素材
- ・テキスタイルデザイン
- ・アパレルデザイン
- ・服飾技能実習Ⅰ

2年次

- ・ファッションビジネス
- ・ドレーピング
- ・服飾技能実習Ⅱ
- ・服飾造形実習
- ・ファッションコーディネート
- ・服飾創作
- ・染色
- ・総合演習Ⅰ・Ⅱ

3年次

- ・ファッション文化論
- ・ブランディングデザイン
- ・舞台衣装Ⅰ・Ⅱ
- ・マテリアル
- ・ディスプレイデザイン
- ・トータルビューティ
- ・ステージ総合実習
- ・ポートフォリオ制作
- ・専門演習Ⅰ・Ⅱ

4年次

- ・創作テキスタイル
- ・卒業研究

本学創立から80年の歴史を誇る服飾美術教育の伝統の上に、基礎からファッションデザインや服飾の造形技術を実践的に学びます。社会、文化、ビジネスの幅広い視野で今を捉え、時代に呼応しながら、その先へとクリエイティブな表現を試みます。また、学生によるショーや舞台衣装の制作など他者との共同作業を通じて、ファッションや表現の世界で活躍できる力を養います。

世界につながる学び

ファッションは多くの人々の手によって生まれます。ファッションショー、舞台などの共同作業を通してコミュニケーション力を養い、それぞれの学びを生かしてファッション業界を中心に多彩な進路へとつなげます。社会やビジネスで求められる感性と実践力を育み、未来を実現し世界で活躍できる人材をめざします。

ファッション×多様な表現分野

ファッションの専門知識や技術に加え、美術・グラフィック・デザイン思考・3DCG・建築・演劇など多彩な表現分野から関心に応じて横断的に学べます。多様なアプローチを通じて、自己表現の幅を広げ、深めていきます。



舞台芸術分野

FIELD OF PERFORMING ARTS

総合的かつ実践的に学び、
舞台のプロフェッショナルになる

演技者からバックステージスタッフまで、舞台芸術にかかわるプロフェッショナルを養成します。講師陣には道内で活躍するスタッフをそろえ、本格的なホールを活用しながら総合的かつ実践的に指導。これらの学びを通して、舞台芸術に限らず社会でも非常に重視されているコミュニケーション能力、チームとして協働する能力を養います。

舞台芸術分野の学生が選ぶ主な研究領域

・役者・声優 ・バックステージ ・舞台衣裳 ・動画・映画

表現と技術を基礎から段階的に学ぶ

演技、照明、音響、装置(舞台美術)、メイク、特殊効果など、舞台づくりのすべてを基礎から実践的に学びます。1・2年次には西洋古典公演を実施。3・4年次では研究領域を選択し、日本の現代劇に取り組むことで、自らの専門性を高め、段階的に力を伸ばしていきます。

本物の舞台でプロから直接学ぶ

授業は主に本学札幌円山キャンパスの多目的ホールなどで行われ、照明や音響などの専用機材にも触れます。舞台芸術に関わる多くのプロフェッショナルな講師陣が授業を担当し、現場に即した実践的な力を身につけます。

実践型の学びで力を身につける

服飾美術分野の学外発表会(ファッションショー)や大学祭公演、オープンキャンパスなどの学内イベント参加だけでなく、「いっしょにね!文化祭」や「TEDxSapporo」のような学外団体との協働を行うなど、積極的に実践活動を行い、社会とつながる力も養成します。

舞台の学びが将来の力になる

舞台芸術で培った表現力、協働力、行動力は、舞台業界はもちろん、一般企業などでも現代社会を生き抜く力として重要視されています。幅広い進路に対応できる実践力を、4年間で育てていきます。

舞台芸術分野の主な科目

1年次

- ・舞台芸術概論
- ・演劇入門Ⅰ・Ⅱ
- ・俳優トレーニング
- ・朗読・ナレーション
- ・ダンス&トレーニングⅠ・Ⅱ
- ・アクティング&オーディオドラマⅠ
- ・ステージ・アーツ入門Ⅰ・Ⅱ
- ・舞台映像制作Ⅰ

2年次

- ・舞台映像制作Ⅱ
- ・舞台芸術各論Ⅰ・Ⅱ
- ・ダンス&トレーニングⅢ・Ⅳ
- ・アクティング&オーディオドラマⅡ
- ・ステージ・アーツ入門Ⅲ
- ・ステージ・アーツ発展Ⅰ～Ⅲ
- ・舞台芸術研修
- ・総合演習Ⅰ・Ⅱ

3年次

- ・俳優論
- ・アクティング&オーディオドラマⅢ
- ・ステージ・アーツ研究Ⅰ・Ⅱ
- ・ステージ総合実習Ⅰ・Ⅱ
- ・舞台衣裳Ⅰ・Ⅱ
- ・ポートフォリオ制作
- ・専門演習Ⅰ・Ⅱ

4年次

- ・ステージ・アーツ研究Ⅲ
- ・演劇と映画
- ・卒業研究



上段左:「テーマを具現化する」北翔舞台芸術2年授業
中段左:「みにくい壺の娘」北翔舞台芸術4年目公演 vol.23
下段左:「夜の来訪者」北翔舞台芸術2年目定期公演 Vol.38

上段右:「箱の中の四人」北翔舞台芸術2年目試演会 Vol.20
中段右:「あゆみ」北翔舞台芸術4年目公演 vol.20
下段右:「魔女の夜」、「リバウンド」北翔舞台芸術3年目公演



舞台芸術授業の様子



「お嬢さんの学校」北翔舞台芸術2年目定期公演 Vol.37

北翔大学 専任教員紹介

教育文化学部 芸術学科 FACULTY MEMBERS



学科長・教授
松澤 衛
Mamoru Matsuzawa

専攻／3DCG、Web、写真、映像
担当／3DグラフィックスI・II

北海道東海大学大学院芸術学研究科修了。専門はコンピューターグラフィックス、映像。デジタルとアナログを融合した新しいメディア表現の研究を行っている。



『ある音の風景』



教授
浅井 貴也
Takaya Asai

専攻／CG、グラフィックデザイン
担当／デジタルイメージI・II、クリエイティブシンキング

米国アカデミーオプアートの大学院卒業、芸術学修士(MFA)。専門はCG、webデザイン、デザイン的思考を用いた創造力開発など。デザインを用いた実践指導を行っている。レゴ®シリアスプレイ®メソッドと教材活用トレーニング終了認定ファシリテーター北海道第1号。



レゴ®シリアスプレイ®ワークショップの様子



教授
朝地 信介
Shinsuke Asachi

専攻／絵画、美術教育
担当／絵画I・II、美術科教育法III・IV

北海道教育大学大学院教育学研究科修了。専門は日本画、教科教育学。『日本画とは何か』という問いをテーマに、日本画や日本文化が伝統的に表してきたものを研究。美術科教育学会、創画会、北海道美術協会などに所属。



『水鏡』



教授
小野 智海
Tomomumi Ono

専攻／ファッションデザイン
担当／アパレルデザイン、ファッションビジネス

東京藝術大学美術学部芸術学科卒業、美術学士。Ecole de la chambre syndicale de la couture parisienne卒業(現Institut Français de la mode)。Maison Martin Margiela等での研修を経て帰国。2009年にブランド設立。オンワードなど企業とのコラボレーションやアーティストの衣装、テキスタイルブランドのアドバイザーなども務める。Tokyo新人デザイナーファッション大賞プロ部門入賞。元CFD東京ファッションデザイナー協議会理事。



准教授
織田 奈緒子
Naoko Orita

専攻／衣装
担当／舞台衣装I・II、ドレーピング

武庫川女子大学生活環境学科卒業、ESMODJapon卒業、文化学園大学大学院博士前記課程修了、修士(被服学)。アパレル企業にてパタンナー(レディス・メンズ)を経験したのち、外注パタンナーとして東京コレクションブランドのパターンも手がける。並行して衣装家として活動。繊維製品品質管理士(TES)。和洋女子大学服飾造形学科を経て現職。国際服飾学会理事、NPO法人ユニバーサルファッション協会理事。



『繁』



講師
柏木 純子
Junko Kashiwagi

専攻／演劇
担当／舞台芸術各論、演劇入門I・II

日本大学芸術学部演劇学科(演技)・博士前期課程(芸術学修士)を経て大阪大学大学院博士後期課程を単位取得満期退学。仏演劇における日本文化受容を専門とし、「役づくり」を軸に俳優や医師などを対象に演技理論を応用したWSを行う。日仏演劇協会運営委員。



三崎彩「哀 ai」(2022) 衣装デザイン
Photo by Works Terra



講師
加藤 万紀
Maki Kato

専攻／服飾造形、ファッションデザイン
担当／服飾基礎実習、パターンメイキング

北海道女子短期大学服飾美術科、北海道ドレスメーカー学院デザイナー専攻科を卒業し、同学院専任教員を経て現職。専門はファッションデザイン。サステナビリティを基盤に置いたファッションのデザイン研究に取り組んでいる。日本繊維製品消費科学会に所属。



『円を装う』



教授
菅野 良一
Yoshikazu Sugano

専攻／俳優トレーニング
担当／アクティング&オーディオドラマI・II・III

愛媛大学理学部生物学科卒業後、演劇集団キャラメルボックスに入団。舞台出演のほか、映画、テレビ・ラジオドラマ、ナレーションなど幅広い媒体で活動。日本初となる走行中の新幹線車内での演劇など、大規模なイベントにも参加。演劇的手法を用いたコミュニケーションのワークショップや環境教育活動を多数実践。北海道大学より博士(農学)を取得。



『クロノス』



准教授
平井 伸之
Nobuyuki Hirai

専攻／演劇
担当／舞台芸術概論、演劇入門I・II

北海道大学経済学部経済学科卒、経済学士。専門は舞台芸術(演劇)で、俳優のトレーニング、演技指導、舞台公演演出などを担当している。舞台芸術制作の方法論を人材育成・地域貢献に応用する研究に取り組んでいる。



『北翔舞台芸術3年目公演 Vol.24 魔女の夜・リバウンド』より



准教授
山下 圭介
Keisuke Yamashita

専攻／彫刻、立体造形
担当／彫刻I・II、美術科教育法IV

愛知県立芸術大学大学院博士後期課程修了、博士(美術)。専門は彫刻、空間表現。環境や空間に合わせて様々な形態を用いて作品を発表。美術と地域及び学校教育との関わりについて研究。大学美術教育学会、国画会に所属。



『Re: draw』



特任教授
新貝 孝之
Takayuki Shinkai

専攻／建築設計、空間デザイン
担当／空間デザイン基礎、建築計画

北海道工業大学(現北海道科学大学)建築学科卒。1986年、早稲田大学専門学校(現早稲田大学芸術学校)鈴木恂研究室助手、1987年早稲田大学専門学校(現早稲田大学芸術学校)建築設計科卒業。アルクム計画工房建築家染谷哲行に師事。1996年一級建築士事務所新貝建築事務所設立。北海道工業大学(現北海道科学大学)。公益社団法人日本建築家協会正会員、登録建築家、一般社団法人北海道デザイン協議会正会員。



『レストランブラディーヴォ』



教授
千里 政文
Masafumi Chisato

専攻／福祉住宅環境、インテリアデザイン、建築
担当／インテリアデザイン、ユニバーサルデザイン

修士(芸術学)、一級建築士、建設会社経営・北海道女子短期大学講師を経て現職。専門は建築計画・インテリアデザイン、ユニバーサルデザイン、防災教育。北海道から福祉環境アドバイザー・福祉教育アドバイザーを任命。日本建築学会・地域創世学会等所属。



『小規模多機能型ホームの設計』



准教授
森井 綾
Ryo Morii

専攻／グラフィックデザイン
担当／デジタルデザインI・II

北海道教育大学札幌分校教育学部特設美術学科卒業、教育学士。専門はグラフィックデザイン・アドバイジングデザインなど。



『林檎園日記』・北翔舞台芸術特別講演「花いちもんめ」

芸術学科には13名の専任教員が所属し、それぞれの専門領域に基づいた教育・研究を行いながら、学生一人ひとりの表現や学びに丁寧寄り添っています。担当分野での指導に加え、担任として学生生活全体を支え、4年間を通して学修・制作・進路の面で力強く後押しします。

充実した施設・設備

本学芸術学科では、分野ごとの学びに合わせた専用施設を数多く備えています。絵画のアトリエやデザインの演習室、メディアデザインスタジオ、インテリア建築スタジオ、衣装製作工房、舞台芸術の稽古場など、実践的な学習に直結する環境が整い、学生は授業以外の時間も自由に活用することができます。自ら作品制作に没頭したり、仲間と自主公演や展示を企画したりと、主体的な活動が可能です。また、「札幌円山キャンパス」のギャラリーやホールでは、授業に加え、学生が主役となるイベントが数多く開催されています。ファッションショーや舞台公演、展覧会などを通じて、学びを社会に発信する機会が広がっています。



SNS・WEB オンラインでの情報発信



Instagram
公式アカウント
@hokushoart



X (Twitter)
公式アカウント
@hokushoart



Facebook
公式アカウント
@hokushoart



YouTube
公式チャンネル
@hokushoart



芸術学科公式SNS、YouTubeチャンネルでは、日頃の授業の様子をはじめ、オンライン講座や学生活動など最新の情報を配信しています。ぜひご覧ください。



芸術学科
公式ホームページ



www.hokusho-art.com

芸術学科公式ホームページでは、学科全体の紹介から芸術5分野、カリキュラムや資格などについて説明しています。

